



## 4年目の鳥屋野潟がってん(潟展)プロジェクト

コロナ禍の中でのオリンピックの華やかな景色と正反対に、身近な運動会やイベントの自粛が続き、青少年の日常的な集団スポーツや野外活動の景色もあまり目になくなった。当会の2021年イベントは、参加する若者をモニターとして取り組んだ。

### 教育資源の潟から地産地“生”資源の潟へ

湖上の日常的な利用として、空芯菜栽培の竹筏や浮島がってん丸での湖上体験の景色を小学校児童に見せてきた。今年は清五郎潟の空芯菜水耕栽培筏の脇に学習テラスを設け、空芯菜学習とイカダに乗る体感の場を提供した。多分、潟に触れる最初の体感、体験になったと思う。



小学校児童の空芯菜現地学習



親子での空芯菜収穫

また、子どもから学校給食で空芯菜が美味しかったと聞いた保護者から空芯菜オーナー申込みがあった。オーナー親子での収穫参加も増えてきた。オーナー募集のねらいがそこにある。

2019年に採択されたTOTO水環境基金の助成支援による事業も今年で最終年になる。当初の目的である、地域を巻き込んだコミュニティ環境ビジネスを成立させる展望はまだ開けていない。着実な進化は、総合学習と学校給食での空芯菜事業の取り組みだ。学習は小中学校の4校、給食は6校の予定。教育資源の潟から、地産地“生”の資源の潟への展開の芽がふきつつある。

### 鳥屋野潟で湖上を楽しむ“潟あそび”

1991年7月、新潟の若者が、ロシア極東のナホトカ市から新潟市まで、日本海1000kmを7人乗りカヌーで横断する夢航海プロジェクトがあり、成功させた。その統括リーダーをされたのが、土方幹夫顧問(駿河台大学名誉教授)。浮島がってん丸にマストなど、顧問から寄贈があり、5月半ば、潟での試験航海の操船指導があった。

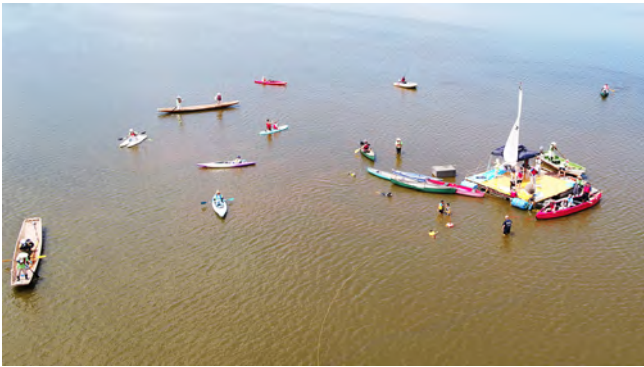


浮島がってん丸の試験航海

7月23日には潟のJr.リーダー育成として、第1回「潟あそびワークショップ(以下WSと略)」を開催した。浮島がってん丸を、鳥屋野潟の旧清五郎川の河口になる沖合の浅瀬に係留して、開催した。子どもたちは、湖上での潟歩き、舟遊び、ヨガWS、湖岸での水質や水防学習WSを体験した。湖上に、当会の二人乗りカヌー6艇、カナディアンカヌー5艇、車いすカヌー、Eボート、SUP、竹筏、さらに鳥屋野潟漁協から木舟板合わせ3艘、安全監視にはゴムボート2艇と船外機ボートと並び、ほぼ総出での湖上遊びの景色になった。

この第1回潟あそびWSが、8月3日にテレビ新潟TeNYの番組「新潟一番」で放送された。昨年の番組「おじいちゃんの空芯菜」につづく放送だった。潟の魅力を

## ■水辺レポート



浮島がってん丸を囲んで潟あそび

継続して発信してくれたテレビ新潟に感謝したい。

8月7日の第2回「潟あそびワークショップ」では、参加した小中学生が、横断幕のアートWS、板合わせ漕ぎWS、湖上環境を表現する踊りWSなどで湖上体験を楽しんだ。

9月12日の第3回「潟あそびワークショップ」では、浮島がってん丸のパドル走、帆走をおこなう。湖上で休憩し、水耕栽培中の採れたて空芯菜の料理やカフェ時間も楽しんでもらう予定だ。

仕上げに、子供たちによる湖上キャンプを企画したが、コロナ禍で難しいため来夏の実現に期待したい。



わんぱく潟ガキの登場 (TV 放送から)

湖上環境を活用した、多様なチャレンジワークショップの参加者から、腕白 Jr. リーダーが生まれると信じている。そこから「都市の新しい自然観」と、それを持続させ、水文化に育てる、湖上活用プラットフォームの組織が生まれることを願う。「潟遊びワークショップ」2021 の映像は、加藤功副代表が編集し、年末に YouTube で公開されると思う。お楽しみに!

代表世話人 相楽 治

鳥屋野潟がってんプロジェクトは TOTO 水環境基金および (公財) 山口育英奨学会の自然環境保護活動助成事業の支援を受けて実施しています。

## 新潟県スポーツ公園の カナルでのカヌー体験

当会では、過去に新潟市中央区主催の「とやの物語」でカヌー体験をカナルで行ってきました。とやの物語では、鳥屋野潟の魅力をもっと市民に知ってもらうことを目的に、水辺を楽しむ手段としてカヌーを使用し、最終的にカヌーで鳥屋野潟に漕ぎ出すことを目標に参加してきましたが、新型コロナ禍の影響等で現在は主体的運営から退いています。

そして、今年(2021年)から、再び新潟県スポーツ公園のカナルでカヌー体験を行うことにしました。このカヌー体験は、新潟県スポーツ公園をまちづくりの拠点として「もっと新潟を楽しめたらいいな!もっともっと新潟の未来を創造したいな!」という思いを持った人たちの集まりからお誘いがあり、カヌー体験教室が開催できればとの思いで参加することにしました。



カヌー体験乗船の様子

開催は、アルビレックス新潟(サッカー)のホーム戦開催時、公園のイベント時、SiP (Sustainable & Inclusive Design Project: 詳細は <https://sip-niigata.jp/>) 主催でのイベント時です。とやの物語の体験は無料でしたが、体験料が徴収できるということで、県内外のカヌー体験料の多くが5,000円以上/回・人であることや、乗船時間や範囲を考え1,000円/回・人として開始したものの、たくさんの方に乗船して頂いています。

また、基本的にカヌーを2人乗り5艇とし、開催時間を2~3時間としてスタッフ数を30人から10人程度に減らすことができたこと、さらにカヌーをビッグスワンスタジアムの一角を無償で借りることができ、そこにカヌーを収納できていることから会場(カナル)までの運搬の労力やトラックが不要になったことです。

現在(8月)までに3回参加しました。カヌー体験教室とまではいきませんが、その試行として「カナルに来ればカヌーに乗れる」を多くの方に認知して頂き、カヌーの楽しさを知ってもらった上でカヌー体験教室に繋がればと思います。やはり大変は大変ですが、会の収益にもなりますし、鳥屋野潟の利活用(潟展プロジェクト)の人材確保の一助になるとと思いますので、もうしばらく続けていきたいと思っています。

世話人 安田 幸弘彦

## report 03 私たちは佐潟で何を残すのか

### ◆ラムサール条約登録湿地になって 25 年の佐潟

昨年の 2020 年、新川が開削されて 200 年の節目の年でした。200 年前の西蒲原には鑑潟を始め大小 48 の潟があったと言われていました。今残っているのは、仁箇堤、上堰潟、佐潟、御手洗潟、ドンチ池、宮池の 6 潟があるのみで、他の潟や池は干拓されて水田になっています。

江戸中期まで越後平野の河川の出口は、岩船の荒川と信濃川の二つのみでした。沿岸部は、角田浜から瀬波に至る延長 70km にも達する砂丘が連なっていたため、内陸部の出口を失った水は、砂丘内部に、淡水性の無数の潟を作り出しました。これが江戸時代になり、開田のため干拓の対象となりました。

佐潟が干拓されなかったのは、下流の水田地帯のため池の役割を果たしてきたからです。また潟は漁業にも使われ、ハスやヒシやレンコン、ヨシの採取が 40 年ほど前まであり、潟の生業が成り立っていました。

この佐潟は、1996 年 3 月に国内 10 番目のラムサール条約湿地として登録され、それから 25 年となります。



オニバスの写真

1998 年 5 月佐潟湿地センターを開設、「佐潟通信」が発行を続け 72 号を数えています。そこには生命あふれる鳥や植物が写真と共に紹介されています。多くは角田山を背景に、潟の水面にはハスの花やオニバスの写真もありました。当時の記録を読むと、湖面を覆いつくすハスにより水鳥の離着水が出来ないので、一部を刈り取るべきとの話も出ています。また、1982 年新潟市教育委員会発行の「佐潟の自然」には、湖面に広がるオニバスの写真もあります。

だが 20 年経った今はどうでしょう。佐潟のハスは減少し、2017 年にはハスもヒシも確認出来なくなり、2018 年にはアオコで青みがかった湖面だけが広がり、岸边にはアオコが漂い、風の弱い夏場は臭いが気になる程です。



2015 年 7 月 湖面に広がるハス 2017 年 7 月 何も無いアオコの佐潟

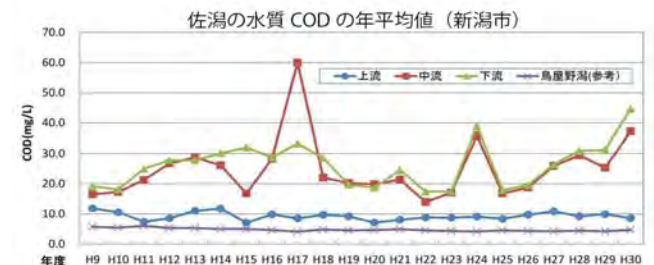
### ◆私と佐潟

私は 2000 年に新潟水辺の会に入会し、通船川や信濃川などに関わり、大熊先生や石月さんから多くの事を学ぶことが出来ました。2004 年より水質に関わり始め、新潟市周辺の河川や湖沼の水質を調べ始め、佐潟へも通うようになりました。潟の調査を本格的に始めたのは、2014 年の新潟市里潟学術研究事業の鳥屋野潟からで、翌年、「新潟市の潟を鳥の目で眺める」の企画で市内 16 潟をドローン撮影した時に潟にハマってしまった者です。

その翌年 7 月、トンボ学者で佐潟周辺自然環境保全連絡協議会の委員を務めていた当会の石月 升副代表が亡くなり、代わりに委員となった者で、潟の専門家や植物学者ではありませんが、新潟の潟を愛する者の一人です。

### ◆佐潟の悲鳴＝アオコ

私は水質の専門家ではありませんが、新潟市で実施している測定の数値を見る限り佐潟は、全国的にもワースト 5 に確実に入っています。その例として、環境省で毎年発行している「全国公共用水域水質測定結果」の「BOD 又は COD が高い水域」の上位が COD10 ~ 14 mg / L 対し佐潟下流は、20 ~ 40 mg / L と数倍高い値(下図)をここ 20 年ほど推移しています。



新潟市発行の第 4 期 佐潟周辺自然環境保全計画より

その他の pH、全窒素、全燐、クロロフィル a の値も高く、富栄養化による水質悪化を招いています。その水質悪化の要因として、私たち人間の営みの変化が佐潟の自然環境を少しずつ壊し、その結果がアオコ発生につながったと言わざるを得ません。アオコ発生はいつからあったのかを調べてみると、16 年前の 2005 年にはもう発生していました。

かつての佐潟は「潟普請」や「掻き上げ」等の管理や内水面漁業での環境が保全され、生物の多様性も維持されてきましたが近年では漁業が下火になり、人々は次第に潟に踏み入らなくなっています。

戦後まで続いていた潟端の水田が耕作されなくなる一方で、佐潟の水源地でもある砂丘地農業は、すいか、ねぎ、だいこん、葉たばこなどの栽培が盛んになりました。

その結果、水田跡地がヨシで覆われ陸地化すると共に、水中ではヘドロ化が進みました。砂丘地の農業ではかつて

■水辺レポート

の有機肥料から化学肥料に代わり使われ、大量の窒素が地下に浸透し、深刻な地下水汚染と水質悪化の一因になったと思われます。



佐潟水門付近は水面が見えないほどアオコが茂っていた (2001.7.31)

水質悪化によりアオコが拡散し、佐潟のアオコが全滅したのかと問われると、違うと思っています。それは隣の御手洗潟水質は佐潟以上に悪いのに、御手洗潟のアオコは毎年大きな花を咲かせていることより、複合的な要因が複雑に絡み合ってもたらされていると考えています。



一面アオコだけの佐潟橋から水門付近 (2019.7.30)

◆私たちは佐潟で何を残すのか

オニバスやアオコが生えないから佐潟がどうしたのかと問われるかも知れませんが、私にはアオコ発生が佐潟の悲鳴に聞こえてきます。この悲鳴が続くと、佐潟は本当に立ち直れなくなって来るように思えてなりません。

2015年に佐潟を空撮しました。その後の2018年、今年も佐潟の空撮映像を行いました。下記の二次元コードよりその変化を見る事ができます。あなたの目でその違いを確かめて見てください。私たち新潟人は、佐潟の何を残すのかが問われています。



YouTube 私たちは佐潟で何を残すのか を検索

副代表世話人 加藤 功

report 04  
第20回通常総会の報告

2021年7月31日(土)新潟市市民活動支援センターにて「第20回通常総会」を開催しました。当日は正会員85人(7月31日現在)中55人の出席がありました。(委任状出席・書面表決を含む)

■令和2年度の事業報告・決算報告

当会が取り組む「美しい水辺の環境改善事業(信濃川・千曲川の鮭復活他)」「里潟学術研究事業(環境調査等)」「とやの潟魅力開発事業(がってんプロジェクト)」「つづくり沿川まちづくりの会支援事業」「通船川河口の森管理事業」「水辺体験スクール事業(カヌー体験等支援)」「交流連携事業(他団体の事業への協力)」について、令和2年度(2020/06/01～2021/05/31)の取組状況を報告するとともに、決算報告、監査報告を行い、これらについて承認をいただきました。

■令和3年度の事業計画・予算について

先にあげた各事業の令和3年度の事業計画を紹介するとともに全体の予算についても紹介し、事業計画・予算ともに承認をいただきました。

新たな取組として「鳥屋野潟がってんプロジェクト」の小学校の総合学習支援が定着していることや、湖上で多様なワークショップの展開、地域の方々と協働しての新潟県スポーツ公園のカナールでのカヌー体験イベントの実施などが紹介されました。

また、当会の収入は会費と活動助成金が主なものですが、それだけでは会の維持が難しくなるので、新たな収入につながる事業を考えていかなければいけないのではないかという意見も出されました。

■役員の変更について

当会の役員の任期は2年としていることから、この総会で役員の変更を行いました。相楽代表世話人より候補者の紹介があり、世話人11人、監事2人の就任が承認されました。

これまで世話人を務めていただいた田邊 敏夫さんは任期満了を持って退任し、新たにながってんプロジェクトに積極的に参加いただいている渡邊 充さんの就任が承認され閉会となりました。

閉会后、臨時世話人会を開催し、代表世話人・副代表世話人を互選しました。

その結果、これまでと同様に代表世話人には相楽 治さん、副代表世話人には梶 瑤子さん、加藤 功さん、山岸 俊男さんが就任することとなりました。

また、再任となった相楽代表世話人より顧問はこれまで通り、大熊 孝さん、香田 和夫さん、土方 幹夫さんをお願いすることが提案され承認されました。

事務局 杉山 泰彦

# report 05 洪水氾濫・ライフジャケットが溺死を救う

## はじめに

水害で老人が溺死する事例が増えてきている。

その端緒は、2004年7月13日の新潟・福島豪雨における信濃川右支川・刈谷田川と五十嵐川の破堤氾濫にあった。この時、15人の死者(土砂崩れによる2人を含む)が出たが、13人が溺死であり、その内70歳以上が10人、住宅内での溺死であった。この中には、寝たきりのまま亡くなられた人や、2階に避難しようとして階段途中で息絶えた人もいた。

私もずいぶん水害調査をしてきたが、住宅内で溺死する事例はそれまでほとんどなかったと言っていい。それが近年急激に増えているのである。

## 近年の溺死の事例から

2016年8月、岩手県閉伊郡岩泉町の小本川水害では高齢者グループホーム「楽ん楽ん」で9人の老人が亡くなった。この老人ホームは、かつて河川敷であったところに、2011年4月開発されたもので、周辺の建物は2階建て以上であったが、この老人ホームだけが1階建てであり、逃げ切れずに入所定員全員が溺死となった。

2018年7月6日から7日に中国地方を襲った線状降水帯豪雨では、倉敷市の高梁川水系小田川流域で大破堤氾濫があり、2階まで浸水し、51人の死者のうち42人が1階で溺死、そのうち36人が65歳以上であった。そのほとんどが寝たきり状態であった。この住宅街も新開地であった。

2020年7月4日熊本県を襲った線状降水帯豪雨では、球磨川流域だけで50人が亡くなられた。そのうち65歳以上が44人である。平屋での溺死が30人、2階屋であるが1階での溺死が5人、2階での溺死が2人、2階屋だが家

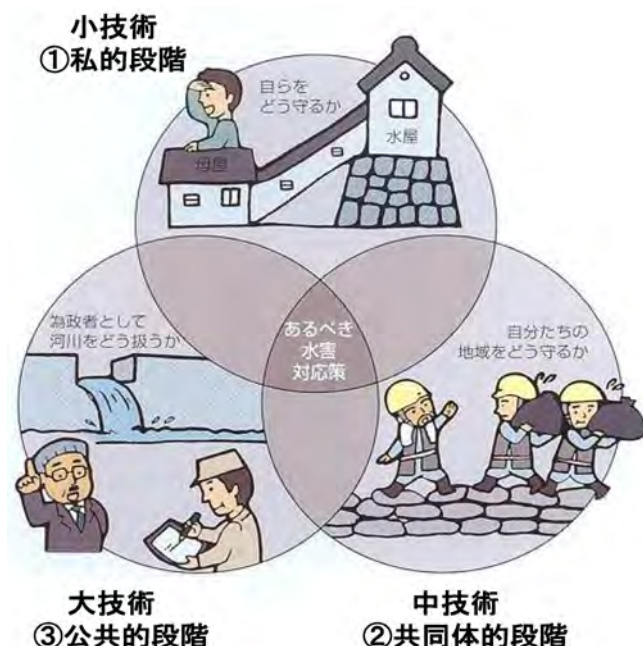
ごと流出で5人死亡、通勤・避難中で8人溺死という状況であった。

## 溺死者を出さないためにはライフジャケットが必須

私はこういう死者を出さないことを目標に、50年以上にわたって「河川工学」を専門としてきたわけである。しかし、私のやってきたことは何の役にも立たなかったようである。確かに最近の豪雨は異常といえる。しかし、災害は社会現象であり、自然現象だけで論じることはできない。現状の水害の原因は、もともと氾濫を受けやすいところが無理やり開発されてきたことにあると言っていい。「治水」は左下図のように個人的段階、共同体的段階、公共的段階がうまくかみ合っこそ、達成されるものである。近年の死者の出方を見ていると、越流したら破堤してしまう堤防の作り方に根本問題があるが、命をなくさないためには、まず個人的段階で溺死しない対策をとる以外にないと思う。私はかつて個人水防心得五訓を唱えたが、ここにライフジャケットを常備することを付け加えたい。寝たきり老人でもライフジャケットさえ装着できれば、浸水してきても浮くことはでき、小さい力でも引き上げることはできる。これ以上老人が亡くならないことを願うばかりである。

### 個人水防心得五訓

1. 調べておこう、自宅のまわりの氾濫実績。
1. 大雨きたら、まず灯りと水と食料の準備
1. ハイテクの自動車浸水に弱し、車での避難、要意
1. 濁水の下凸凹みえず、片手にころばぬ先の杖。
1. 氾濫の引き際に泥・ゴミ掃除忘れずに、後始末大変 (1992.5.29 大熊作成)



写真・濁水中の歩行訓練  
提供：河川愛護団体リバーネット21 ながぬま

大熊 孝(新潟水辺の会 顧問)

## イベント情報

### ●空芯菜お料理コンテスト

9月5日(日) 13:30～16:00(受付 13:00～)  
会場：いくとびあ食花・食育花育センター調理室  
要事前申し込み・参加費無料

詳細は新潟水辺の会 Web サイトにて

### ●第3回潟あそびワークショップ

9月12日(日) 09:00～  
集合場所：鳥屋野潟湖畔一本松  
参加費：一般 300円(保険代相当)。モニター参加の青少年は無料。  
要事前申し込み (info@niigata-mizubenokai.org へメール)

### ●カナルカヌー体験教室

9月25日(土) 10:00～13:00(変更の場合あり)  
アルビレックス新潟主催、新潟水辺の会運営  
9月26日(日) 10:00～14:00(変更の場合あり)  
Sip 主催、新潟水辺の会運営  
10月31日(日) 10:00～14:00(変更の場合あり)  
Sip 主催、新潟水辺の会運営  
会場：新潟県スポーツ公園カナル広場  
体験料：1人1回 1,000円(体験時間 30分)  
申込：当日会場にて受付

### ●通船川 河口の森美化活動・通船川川掃除

10月2日(土) 09:00から 11:30(予備日 10/9)  
集合場所：通船川河口の森

### ●第13回“いい川”・“いい川づくり”ワークショップ in 中部

10月2日(土)・3日(日) メイン会場：岐阜市の長良川国際会議場に、オンラインとの複合型で開催予定。詳細は NPO 法人全国水環境交流会 Web サイト (<http://mizukan.or.jp/>) にて。主催：いい川・いい川づくり実行委員会・中部流域連携ネットワーク

### ●にいがた環境フェスティバル 2021

10月31日(日) 10:00～16:00

会場：万代島多目的広場(大かま)

主催：新潟県

新潟水辺の会はポスター展示で出展します。

### ●新潟水辺の会シンポジウム 2021 & 大熊 孝顧問出版記念講演会～新たな自然観の形成に向けて！～

日時：2021年12月4日(土) 13:30～16:30

会場：新潟コンベンションセンター朱鷺メッセ・201 中会議室

参加は事前申し込みの方限定(定員 150 名先着順)(新潟水辺の会 Web サイトにて)

プログラム(予定)

13:30 開会・プロローグ映像上映

13:45～14:40 新潟水辺の会活動報告『鳥屋野潟での「新たな自然観」形成の試行活動』相楽 治(新潟水辺の会代表世話人)

14:50～15:10 大熊孝著『洪水と水害をとらえなおす』出版・受賞お祝いスピーチ

田口 均((株)農文協プロダクション)：出版経緯と毎日出版文化賞について

栢本 拓(JR 東日本)：土木学会出版文化賞について  
知野 泰明(土木学会土木史委員会委員長)：土木学会功績賞について

15:10～16:30 受賞記念講演「新たな自然観の形成に向けて～民衆の自然観 vs. 国家の自然観&都市の自然観～」大熊 孝(新潟大学名誉教授・新潟水辺の会顧問)

16:30 閉会

※主催者の記載がない催しは当会の催主事業です。

※※これらの催事は新型コロナウイルス感染症対策を実施して開催しますので、検温や体調確認、手指の消毒、通知アプリの利用等にご協力をお願いします。また、感染症に関する社会情勢により中止および参加人数や内容の変更が生じる場合がありますので予めご了承ください。

**編集後記：** 最近様々な水辺の楽しい過ごし方があるようです。

水辺の会が協力した「スポーツ公園フェスタ 2021」では鳥屋野潟公園のカナル(水路)で子どもたちがカヌーを楽しみました。

スノーピークが運営する信濃川やすらぎ堤の「ミズベリング」は“水辺アウトドアラウンジ”と称して BBQ レストランやオープンカフェ、ピアガーデンなどを展開し、人々が街中での水辺を楽しんでいます。

去年 12 月に NPO 法人になった新潟海洋開発は日和浜海水浴場での「ビーチテニストーナメント」を行い、やすらぎ堤での「ミズベウォーク×船上ナイトビューイング」を企画しました。

「肉バルナイト」と称して8月の青山海岸で 24 時間 BBQ を楽しんでいる人もいました。

新潟市は街中で川と海が楽しめる町です。これからも様々なミズベの楽しみ方から“水都新潟”を実感してみたいと思います。

編集人：森本 利

### ●発行：特定非営利活動法人新潟水辺の会

●事務局 〒950-2264 新潟市西区みずき野 4-7-15 大熊河川研究室内

Phone 025-264-3191 (留守番電話の際は伝言をお願いします。)

●ホームページ <https://niigata-mizubenokai.org> ●メール info@niigata-mizubenokai.org

●会員数 個人会員 77 名、法人会員 6 団体、家族会員 2 組、法人賛助会員 1 団体、顧問 3 名 (2021 年 8 月 31 日現在)